



地域活動だより



今年度、こども園に来園しての地域活動は、コロナウィルス感染防止のため実施いたしません。情報を少しでもお知らせすることができれば・・・と思います。

年に数回、ホームページで遊び等を掲載していきますので、時々、ホームページをご覧くださいと嬉しいです。



第1回目は、子どもとの触れ合い遊び ～楽しみながら学ぶことがいっぱい！～ です



【いないいないばあ】

顔と顔を見合わせた後、大人が顔を手で隠して「いない いない ばあ！」と手を広げ、顔を出す遊び。

日本だけでなく、英語圏では「ピッカ プー！」と言いながら同じ遊びがあります。単純な動きと言葉ですが、幅広く楽しんでいる遊びですね。

身近な大好きな人とする事、笑顔が出てくる事がポイントで、何度でも同じ動きを要求する子どもたち。そのうち、笑ったり真似して顔を隠したりします。その時には、動きに言葉を合わせ、子どもと心を通わせましょう。ついつい、いろんな顔を大人はしてしまいがちですが、小さな子どもは身近な大好きな人の笑顔が出てくることで人への安心感も学んでいます。

<アレンジ>

☆お座りができるようになってきた位からは、顔が隠れるくらいのハンカチ等薄手の大きさの布を「いないいない」の声でふわりと頭からかぶせて、「ばあ」の掛け声でふわりと取る遊び方もあります。その時も顔の正面に大人はいるようにして、布を取ったら笑顔が見えるようにしてみてください。

そのうち、自分で布を取ったりかぶったりするようになります。ただし、布は思い通りに子どもが取れなくなることもあるので、必ず大人がそばでするようにしてくださいね。



【にらめっこ】

『♪ だーるまん だーるまん にーらめっこしましょ わーらうとまけよ あっぷっぷ』
2人で向き合って「♪ だーるまん…」と歌をうたい、「あっぷっぷ」の最後の「ぷ」の所で様々な表情をして笑った方が負けという遊び。

こちらがよく聞く遊びですが、子どもたちが大好きな遊びです。「あっぷっぷ」で頬を膨らませて顔を見合せるとすぐに笑い出す子どももいます。頬を膨らませたり「あっぷっぷ」と一緒に歌ったりすることで、自然と口の筋肉を使うことにもつながっています。

様々な表情をしながら顔の筋肉を使ったりユーモアを楽しんだりするといいですね。